

シネマズライフ

たかぎ りおん
貴樹 諒音

2014年5月16日発行 第61号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

【最近のこれはお見事！】

『闇のあとの光』はたして、その光は明るいのか暗いのか？

【最近のこれはまずいぞ！】『ザ・ベイ』

原題は「入り江」でお話だけ見ると単純なパニック映画。監督は『レインマン』『グッドモーニング・ベトナム』のバリ！
レヴィンソンが何故に？って思う映画です。

映画の風景 日本の風景

※ 北海道札幌市、ススキノ ※



昔・『探偵はBARにいる2』という映画があった。こんな映画だ。

札幌・ススキノ。携帯を持たない探偵の『俺』への依頼は常連客になつて
いる店に電話をかけた。仲のいい
オカマのマサコちゃん。殺されたマシ
クで全国優勝した翌日、殺され路上に
倒れていたのだ。犯人は見つからず、
その上・マサコちゃんは以前、地元の
大物政治家・権威の恋人でそれが原因
で権威に殺されたという噂
が立ち、警察もお手上
げの状態でたいてい
そこで、マサコちゃん
んがファンだった破天
荒な性格のヴァイオリ
ニスト・河島三手がファ
ンの死の真相を知りた
いと正式に依頼人にな
り、探偵である『俺』
が真相を追及する事に
なるとか、マサコちゃん
の故郷を見つづけるが
そこには、これまでの
マサコちゃんの悲しい
生活が判明し……

生きるという自体が悲しいのではな
いかと思う人がたまにいます。マサコちゃん
んはそんな人。ススキノという場所も
そんな人々の「たまり場」。どこの町
にもそんな境界がある。
しかし、そんな「たまり場」も「開
笑」という美名で無くなりつつある。
それは「たまり場」でしか生きれない
人々の住む場所が無くなる事だ。
ススキノはまだそんな悲しい人達の
「たまり場」。そんな町が残っている
という事が嬉しい。

『探偵はBARにいる2 ススキノ大交差点』2013年 日本 監督：橋本一 出演：大泉洋 松田龍平 尾野真千子 古川雄大 渡部篤郎 藤井美央

映画の舞台は札幌・ススキノ。北海道出身の大泉洋にとっては、故郷に愛着があり北海道の舞台の映画は息巻く映画だったようだ。

人間は結局、
目で見た事しか
信じていない？件

中編

黎明期に公開されたとはい
え、『月世界旅行』も信じた人
もいたそう。ましてや『大列
車強盗』は、最後にピストルを
放すとなるとショックで死者ま
で出たという話もある。
一方、近年ではSFXが発達
しすぎて『映像』を信じない人
も多く、巷に大量発生してい
る『偽』UFOも、実はほん
のUFOが写っているかも
しれないではないかと思っ
たりする。

考えて見ると、アメリカでは
箱を覗く方式を作ったのがエジ
ソン。しかし、客を集めるには
あまりにも効率が悪く、ス



映画『月世界旅行』の月
突き刺さっているのはロケット。

以下次号。

クリーンに写る映画にとつて変
えられるのはしかたがない事だ
が、現代はスマホ・パッドで一人
で映画を見る時代。これって進
歩したというより、三六〇度
回つて元に戻った感じなのが面
白い。今の若者は、その画面の
中で起こった事の方を信じて
しまう。
最近では、3D映画なども作
られるようになり、さすがに
3D映画を『現実』と思う観客
はいないが、これが4D・5Dと
なるとどうなるか？映画とな
り、現実の世界とまったく違わ
ない架空世界に入り込む事
になると、まさに映像が人間と
同じように行動する『スタート
レック』のホログラムの世界。ま
たくそういう映画だと知らな
いで入るとその経験を『リアル』
現実だと信じてしまうだろう。

シネマズライフ—cinemaz-life— 61号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitavo/2012/01/post-bcc7.html>

《WOWOWシネマ》

『二十四時間の情事』

《日本映画専門チャンネル》

『ステキな金縛り』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。

m()m ダウンロードで鑑賞できます。m()m

http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.